

# 一般質問通告書

受領日時 令和3年11月29日 午前10時10分

8番 氏名 畑澤 洋子

| 質問項目                             | 質問の要旨   |
|----------------------------------|---|
| 1 森林環境譲与税の使途は                    | <p>① 森林環境譲与税は市町村において間伐・人材育成・担い手確保・木材利用の促進や普及啓発などの促進に関する費用に充てられることになっている。町では貯蓄中だが、</p> <ol style="list-style-type: none"><li>1 今後の方針が決まるのはいつか。</li><li>2 森林所有者のアンケート調査などで意向を確認しているか。</li><li>3 町民との意見交換の場「森林、景観、木育、温暖化対策」の公開協議など開催してはどうか。</li></ol> <p>② 林業関係者からは、環境譲与税を貯蓄せず、すぐにも路網整備・伐採・植林に活用してほしいとの声が届いている。</p> <p>杉の皆伐後、桜の苗木を植樹した山主がいる。皆伐後の杉の植林に補助はあるが町からも追加補助し、広葉樹にも補助するなど考えられないか。温暖化対策にはすぐにでも苗木を植えたほうが効果があるのでは。</p> |
| 2 2回目接種後にコロナ陽性となるブレークスルー感染に注意喚起を | <p>① 1回目、2回目のワクチン接種事業から見えた3回目接種に向けての課題はあるか。たとえば「申請方法・会場・送迎用交通機関の是非」など。8か月後実施となる3回目接種の大体の目処はついているか。</p> <p>② ブレークスルー感染予防とワクチン3回目接種の必要性の周知徹底を。</p>  |
| 3 デジタル化の流れに高齢者を取り残さない            | <p>① デジタル関連法で行政のデジタル化が進めばデジタル化に不慣れな高齢者に情報格差が生じる。誰もが行政の恩恵を受けることができるよう、スマートフォン購入費助成と町のスマホ教室の開催で、取り残されない高齢者支援を。</p>  |

4 HPV ワクチン  
積極的勧奨再開  
に向けて

① ワクチンの有効性は若年の接種ほどより高くなるとデータが示している。厚労省はワクチン定期接種対応(勧告)「平成25年通知」を11月26日通知をもって廃止した。町では令和2年から再開している。再開後の接種数は。

② 積極勧奨しなかった対象年齢を過ぎた世代の希望者への対応はどうしているか。厚労省の救済措置が決まる可能性もあるが、それを待たずに急ぐ必要性を理解して町がキャッチアップ助成事業をつくり助成金で救済してはどうか。